

## 『ピンチをチャンスに』

通所支援課 管理課長 吉田 丈夫

今年度の法人方針は『変化と考働』ということで様々な改革に取り組んでいますが、年度が始まって直ぐに世界的に大きな変化がありました。それは、新型コロナウイルスの感染拡大であります。緊急事態宣言が政府より発令され、通所支援課では前例のない感染症による『休業』、就労事業のカフェやレストランや移動パン販売では営業自粛も実施するなど、これまでに経験したことがない脅威に対応する日々でありました。緊急事態宣言が解除されて以降は、感染防止策を講じつつ営業を再開しましたが、お客様も減り売上も大幅に減少しております。特に4月においてはレストランでは前年同月の売上の半分まで落ち込み、移動パン販売やカフェでも前年同月比3〜4割減という非常に厳しい状況にありました。しかし、手を拱いていても仕方が無いので、活路を見出すべくテイクアウトメニュー開発や受注販売を開始することにより、お客様の新しい生活様式に合わせたサービス開発に取り組んでいます。

これはまさしく年度法人方針の指し示す『変化と考働』の実践であり、今後の展開によれば大きなチャンスになるものと考えています。

今後益々世の中（外部情勢）は新型コロナウイルス感染の影響により物凄く速いスピードで変化して行くと思われれます。その変化を敏感に感じ、今何が求められているのか、どうすればニーズに答えることができるのか、それぞれの事業活動のことを考えつつ、組織としての結束力を高め、あらたなアイデアを生み出していける人材育成と組織力の向上を目指していきたいと考えております。

『変化と考働』を実践し、新型コロナウイルスがもたらしたピンチをチャンスに変えていかなければなりません。特に私が担当する通所支援課におきましては、活動の変更や改善が必要なところはしっかりと取り組むことで、以和貴会の日中活動を利用したい、又は安心して利用させたいと思っていただけのような事業所となっていけるよう職員とともに邁進して参りたいと考えておりますので今後益々のご理解とご支援を宜しくお願い申し上げます。



## 事業活動紹介 ～通所支援課～

今回は、通所支援課（今人・我楽・すみれの里）の活動をピックアップしてご紹介させていただきます。

### ■ワークサポートセンター今人「そ〜じや」（委託清掃活動）

清掃活動を仕事として提供し、一般企業への就労に向けた訓練も行っています。働く意欲を高めることや社会性及び一般的マナーの獲得、コミュニケーション能力の向上等を目標としています。委託を受け、近隣の社会福祉法人博寿会 介護老人保健施設「てんとう虫」と、同法人の障害者支援施設「ゆらくの里」に行っております。また、就労定着支援として、一般就労をされた方には、就職後のフォローも行っております。



### ■ふれあいキッチン空・SORA（レストラン）

香芝市総合福祉センターでレストランを運営しています。コロナウイルス感染症対策による福祉センターの貸室温泉休館や外出自粛が求められる中、運営は厳しい状況に置かれていますが、感染予防対策をしっかりと行なっている店舗営業に加え、3月より香芝市役所や警察・消防署の職員さん向けにお弁当の注文販売をスタートさせております。春休みには、学童保育へ通うお子さんへの昼食のお弁当も好評でした。また、今だからこそご利用者に提供できることはないかと考え、野菜の皮むき・カットや計量等の調理補助、デザート作りなど、これまでではされていなかった役割に挑戦して頂いています。ご利用者の皆さんは、試行錯誤しつつも充実感を得て楽しく仕事に取り組まれています。

今後もコロナへの対策を継続する中で、前向きにご利用者とともに成長していける活動を目指します。

### ■障がい者支援センター すみれの里

コロナウイルス感染症対策を徹底し、ご利用者と職員の健康管理に努めております。そのような中、マスクが手に入り難くなってきた時期には、レクリエーションの要素も取り入れ、ご利用者の皆さんと「手作りマスク」に挑戦しました！暗いニュースが多い中、せめてマスクぐらいは明るくいきましょう！ということで様々な色柄のマスクを作り、ご利用者に持ち帰って頂きました。



### ■スイーツファクトリー モンステラ（製菓工房）

スイーツファクトリーモンステラでは、新型コロナウイルスの自粛により焼き菓子の製造量が減っている中、少しでもご利用者の皆さんの元気に繋がるよう、ゆらくの里へサクランボ狩りに出かけました。かなり日差しが強く暑い中でしたが、たわわに実ったサクランボを楽しくたくさん収穫することができました。収穫したサクランボはモンステラに持ち帰り、みんなで種取りを行った後、ジャムに加工しました。レモン果汁と合わせてスッキリ爽やかな味のジャムは大人気で、すぐに売り切れとなりました。ナチュラルカフェモンステラでは、他にも手作りのジャムをたくさんご用意しています。ご来店お待ちしております。



## アート活動「アトリエ それいゆ」便り

絵画サークル・アトリエそれいゆ  
岡橋 三起子



新型コロナウイルス感染症が世界中に猛威を振るい、窮地に立たされた人々が大勢いる中、一刻も早い問題収束が望まれます。感染症にかかってしまった皆様には、心よりお見舞い申し上げます。

「絵画制作を楽しみたい」というご利用者が集まって開催されている有志のクラブ活動“アトリエそれいゆ”は、コロナ対策の為、現在臨時休業中ですが、ご利用者の皆様からは「いつになったら、またアトリエができるの?」「早く、“それいゆ”をやりたい」という声を多数いただいています。また、あらゆる業種で自粛ムードが高まっていますが、その中でも開催される予定だった「NPO 砂浜美術館 Tシャツアート展」は開催を秋に延期され、「上野の森美術館 日本の自然を描く展」は、審査会を春から夏に延期されます。

それらの公募展には、今年も“アトリエそれいゆ”の皆さんが応募されていて、少なからず影響を受けています。「こんな時にこそ、皆さんに明るい話題を提供できるように」という思いから応募を決心しましたが、思うようにいかない事も多く、一日でも早く、以前のような活気のある幸せな世界が取り戻せるように願っております。

そのような状況の中で、一つ明るいお話があります。「コロナ自粛」が世間で高まりつつあるものの、2016年に作品レンタル契約を結んだ登大路総合法律事務所の皆さんは、作品レンタル契約を継続してくださり、作品を搬入するために訪問したスタッフを温かく迎え入れてくださいました。また、契約にあるように有償で作品をレンタルしてくださり、所長弁護士の田中啓義先生は、いつも作品の良いところを褒めてくださいます。そして、奈良教育大学名誉教授の川上文雄先生と共に、今年の11月に「コミュニティ・アート」をテーマとした障がいのある方の作品展に、弁護士・田中先生がレンタルした作品をコレクションとして加え、“アトリエそれいゆ”の皆さんの作品を出展していただくことが決定しました。

約20点を出展予定にしており、現在作品選びに大忙しです。障害のある人のアート活動を応援してくださる皆様には、心の底から感謝申し上げますとともに、今後の皆さんの活動の発展を祈念いたします。

障がいのある方のアート活動を支援して15年、何としてもこの最大のピンチを乗り越え、アート活動を通して、皆さんと再び喜びの多い幸せな道を歩めるように頑張ります。

今後とも、ご理解ご支援をよろしくお願い申し上げます。



吉原成信さん「砂丘」



## ゆらくの里調理実習 5月11日

ゆらくの里にて『調理実習～フレンチトーストをつくろう～』を実施しました。当日は、管理栄養士の準備したレシピを基に、ご利用者と職員が協力して材料を切り、牛乳と卵に浸したパンをホットプレートで焼き、餡子又はアイスとイチゴをトッピング、最後にはちみつをかけて完成です。作っている最中は、率先して材料を切ったり・焼いたりしてくれる方や、早く食べたいと調理している様子を見つめておられる方など、皆さんそれぞれに楽しんで居られました。

完成したフレンチトーストを食べたご利用者からは、「これ美味しいわ～」「〇〇さんも早く食べ！美味しいで！」と大好評！コロナのことを忘れさせてくれる、笑顔いっぱいの楽しいひと時を過ごすことが出来ました。



## ゆらくの里家族会 ケーキ寄贈 5月27日



新型コロナウイルス感染拡大により外出等が出来ないゆらくの里のご利用者のために、家族会の皆様より「sweetsfactory monstera」の特製ケーキを寄贈いただきました。

美味しそうなケーキを前に、皆さんとても喜ばれ、おやつにて美味しく召し上がられました。

ゆらくの里家族会の皆様、本当にありがとうございました。

## 新入職員紹介

ご利用者のために精いっぱい頑張ります  
どうぞよろしくお祈りします



いりえ あきこ  
**入江 顕子** (4月14日入職)  
今人 パート

ワークサポートセンター今人で勤務させて頂いております。福祉のお仕事は初めてですが、笑顔を忘れずご利用者の気持ちに寄り添ってお仕事が出来ればと思います。宜しくお願い致します。



にしもと つねたか  
**西元 恒貴** (4月24日入職)  
ゆらくの里 正職員

ゆらくの里に勤務させて頂いております。色々と覚えることが多く先輩方に教えてもらう日々が続いていますが、一日も早く先輩方に追いつけるように心掛けて行きますので、宜しくお願いします。



しおかわ あやか  
**塩川 綾佳** (5月11日入職)  
ゆらくデイ 正職員

5月より勤務させて頂いております。ご利用者が『笑顔』で楽しく過ごすことが出来るようにまずは自分自身『笑顔』を忘れず頑張っていきたいと思っております。よろしくお願い致します。



まつもと さだよし  
**松本 貞佳** (7月1日入職)  
管理部 部長 (正職員)

皆さん、こんにちは。7月より以和貴会にお世話になります。福祉関係の仕事は未経験ですが、ご利用者様、そのご家族、そして職員の皆様に少しでもお役に立てるよう頑張りますので何卒よろしくお願い致します。

## 令和元年度 決算公告



社会福祉法人 以和貴会  
理事長 下村 卓司

### 資金収支計算書の要旨

(自 平成31年4月1日 至 令和2年3月31日) (単位:千円)

勘定科目		決算
事業活動による収支	事業活動収入	794,355
	事業活動支出	721,375
	事業活動資金収支差額	72,980
施設整備等による収支	施設整備等収入	—
	施設整備等支出	63,534
	施設整備等資金収支差額	△63,534
その他の活動による収支	その他の活動収入	32,000
	その他の活動支出	29,068
	その他の活動資金収支差額	2,932
予備費支出		—
当期資金収支差額合計		12,377
前期末支払資金残高		182,909
当期末支払資金残高		195,287

### 事業活動計算書の要旨

(自 平成31年4月1日 至 令和2年3月31日) (単位:千円)

勘定科目		当年度	前年度	増減
増減の部	サービス活動収益	788,380	763,203	25,176
	サービス活動費用	747,670	757,916	△10,245
	サービス活動増減差額	40,709	5,287	35,422
外増減の部	サービス活動外収益	5,975	5,203	771
	サービス活動外費用	6,661	5,622	1,038
	サービス活動外増減差額	△685	△418	△266
経常増減差額		40,024	4,868	35,155
特別増減の部	特別収益	—	4,033	△4,033
	特別費用	0	3,800	△3,799
	特別増減差額	△0	233	△233
当期活動増減差額		40,024	5,101	34,922
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額	172,060	184,088	△12,028
	当期末繰越活動増減差額	212,084	189,190	22,894
	基本金取崩額	—	—	—
	その他の積立金取崩額	32,000	4,000	28,000
	その他の積立金積立額	29,068	21,130	7,938
	次期繰越活動増減差額	215,016	172,060	42,956

### 貸借対照表の要旨

令和2年3月31日現在

(単位:千円)

	資産の部			負債の部			
	当年度末	前年度末	増減	当年度末	前年度末	増減	
流動資産	232,064	210,228	21,836	流動負債	80,066	70,187	9,878
固定資産	1,103,641	1,103,406	234	固定負債	136,923	154,957	△18,033
(基本財産)	859,484	878,598	△19,114	負債の部合計	216,989	225,144	△8,155
(その他の固定資産)	244,157	224,807	19,349	基本金	640,964	640,964	0
				国庫補助金等特別積立金	125,696	135,494	△9,797
				その他積立金等	137,038	139,970	△2,932
				次期繰越活動増減差額	215,016	172,060	42,956
				(うち当期活動増減差額)	40,024	5,101	34,922
				純資産の部合計	1,118,715	1,088,489	30,226
資産の部合計	1,335,705	1,313,634	22,071	負債及び純資産の部合計	1,335,705	1,313,634	22,071

※ 計算書類、財産目録及び現況報告は、福祉医療機構のホームページにて公開しております。

<http://bit.ly/30bioJS>

※福祉医療機構のホームページ「社会福祉法人の財務諸表等電子開示システム」

こちらから  
ご確認頂けます



## 全三菱自動車・三菱ふそう労働組合連合会様 寄贈

全三菱自動車・三菱ふそう労働組合連合会様より、労連創設 40 周年記念事業として以和貴会に寄贈して頂き、7 月 16 日（木）にグループホーム No a 「のあ」にて贈呈式を開催致しました。

### 【寄贈品 使用場所】

地域支援課（グループホーム「のあ」）

○シャープ 洗濯機 3 台

○パナソニック 電子レンジ 1 台

児童支援課（放課後等デイサービス）

○アップル iPad 1 台

○iPad ケース 1 個



贈呈式の様子



寄贈頂いた洗濯機の使用風景

洗濯機や電子レンジ等の家電製品は、ご利用者が長年の間、大切に使用して頂いていました。しかし、故障することも多く、すぐに修理や買い替えをしないとご利用者が不便な生活をする事になります。今回の寄贈のお話しを頂いた時は夢のような話で大変嬉しく思いました。

各棟に洗濯機を置くとご利用者の皆さんが、嬉しそうに「これ何？使っていいの？」と聞いて来られ、みんな新しい電化製品に興味津々でした。福祉の仕事は人と人の繋がりが大切です。

今回の寄贈は人との「縁」を大切にしなければいけないと改めて考える機会を頂いた気がしています。本当にありがとうございました。

### 《ありがとうございました》

多くの方よりご寄附をいただきました。皆様方からの寄附を施設整備など、有効に活用し、ご利用者のために使用させていただきます。

#### 《個人》

戌亥幸秀、池上治人、増尾明広、喜多将己、中筋廣次、平岡靖介、宮地恵美子、堀謙輔、平田典子、川北司朗、匿名希望1名

#### 《業者ほか》

岡村プロテックス(株)、(株)ステップワン、(株)田原建設

(順不同・敬称略)

### 《賛助会員募集》

引き続き賛助会員を募集いたします。同封の振込用紙にて会費のお振込を是非お願い申し上げます。

#### 《編集後記》

本格的な夏を迎え、各地で異常な暑さとなっております。しっかりと水分補給をし、熱中症に十分注意しましょう。又、一度は収束したように見えた新型コロナウイルスも、再び各地で感染拡大が見られます。当法人でも、皆さんに安心して頂けるよう徹底した対策を継続していきます。

発行： 社会福祉法人 以和貴会  
住所： 〒639-0261  
奈良県香芝市尼寺6 1 6 番地  
編集責任者： 理事長 下村 卓司  
Mail： office@yuraku.or.jp  
発行月： 令和2年8月